

 市場価格

ドル建て      ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	916.00	2023/8/14
High	918.36	2023/8/14
Low	884.74	2023/8/17
Close	914.60	2023/8/18

円建て      円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4270.00	2023/8/14
High	4277.00	2023/8/14
Low	4153.00	2023/8/16
Close	4274.00	2023/8/18

ドル建て      ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1295.29	2023/8/14
High	1310.82	2023/8/14
Low	1203.30	2023/8/17
Close	1255.90	2023/8/18

円建て      円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6055.00	2023/8/14
High	6113.00	2023/8/14
Low	5678.00	2023/8/17
Close	5883.00	2023/8/18

 ニュースエクスプレス

## プラチナ価値、ファンダメンタルズを考慮しても割安- ANZ

先日 900 ドルを割ったプラチナについて、オーストラリア・ニュージーランド銀行のエコノミストが展望を語った。

## プラチナは割安

大膽な投げ売りで、プラチナの価格はそのファンダメンタルズから見ても割安となった。貴金属価格が下落する中、投資家は5月以来、4.4トンを越すのETFを売却。

世界のプラチナ鉱山生産の 75% を占める南アフリカでは電力不足が続き、今年の鉱山供給の回復が危ういとされる。

プラチナ需要は、自動車産業と、水素燃料の製造に使われる水電解装置という新たな分野の需要に支えられているが、水素燃料への転換と燃料電池自動車の普及からの恩恵もあり、こういった背景が需要の構造的な支えになる可能性がある。

<https://www.fisnet.com/news/platinum-valuation-is-cheap-against-constructive-fundamentals-202308171405>

## ベルリン市内の燃料電池タクシー、100万キロを走破

アングロ・アメリカンは、同社を含むプロジェクトにおいて、燃料電池自動車（FCV）が、乗客を乗せて走ることで10万回、距離にして100万キロ以上のゼロエミッション走行を達成したと発表しました。

「H2 Moves Berlin」プロジェクトはドイツ最大の燃料電池自動車プロジェクト。

同プロジェクトは、プラチナ触媒を使う燃料電池の発電を利用して走る燃料電池自動車を使ってゼロエミッション交通網を押し進めているアングロ・アメリカンが、ドイツヨタとタクシー運営会社 SafeDriver Group-ENNOOの協力によって進めている。

ベルリン市内の水素補給インフラと、トヨタの燃料電池自動車 Mirai を 115 台を利用しており、数ヶ月後には 200 台に広がる計画。

アングロ・アメリカンの Executive Head of Market Development、Benny Oeyen 氏は、「燃料電池自動車は、重い電池を搭載する必要がないため、航続距離が長く、燃料補給に時間がかからない。そのため、タクシーやバス、大型トラックなどの車両に非常に適している。」

「現在バッテリーの原料供給に対するプレッシャーがあるが、燃料電池自動車はそれを緩和させ、電気自動車市場全体の安定と持続性の維持に貢献できる。」

Oeyen 氏は続けて、「燃料電池技術に不可欠なプラチナの大手生産者として、我々は早い時期から水素経済の将来性を支援しており、これからはドイツ、そしてそれ以外の地域の水素燃料を使う交通網のエコシステムの確立に積極的に関与していくつもりだ。」

ウーバーのプラットフォーム以外にも、「H2 Moves Berlin」プロジェクトはベルリン市内で行われたベルリン国際映画祭、グリーンテックフェスティバル、スペシャルオリンピックなどの公共イベントにシャトルサービスを提供。

同プロジェクトのパートナーである SafeDriver Groupのマネージング・ディレクター、Thomas Mohnke氏は、燃料電池自動車をタクシーに使うことで、車両のダウンタイムを減らし、ゼロエミッションを達成できる点で非常に合理的であるとしている。

ドイツヨタの社長であるマネージング・ディレクター、André Schmidt氏はさらに続ける。「ベルリン市内を 10 万回以上走り回る Mirai タクシーの走行距離は既に100万キロ以上になる。燃料電池自動車がいかに信頼できる車両であるかという証明だ。」

2021年にノルウェーのオスロー市は2022年までに100 台の トヨタ Mirai のタクシーを導入するとしている。トヨタは Everfuel とノルディック地域最大のタクシー会社 Cabonline との協力体制を敷いている。

<https://www.h2-view.com/story/hydrogen-taxi-fleet-in-berlin-surpasses-one-million-kilometres-of-journeys/>

Translated by Kazuko OSAWA

 WPIC直近の活動

水素を作り出す固体高分子型 (PEM)水電解装置の触媒にはプラチナとイリジウムを使う。イリジウムはプラチナよりも約 20 倍も希少な金属で、世界の生産高は年間約 7.8トン。イリジウムの供給不足が固体高分子型水電解装置の普及の足枷になり、この分野のプラチナの需要にも影響するのではないかと懸念されているようだが、WPICのリサーチでは、2050年までに1550ギガワットとされるPEM水電解装置のイリジウム需要は今後30年間で供給可能としている。詳しくは[プラチナ豆知識—イリジウム供給](#)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2023/08/17>



(@wpijapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資勧誘を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。